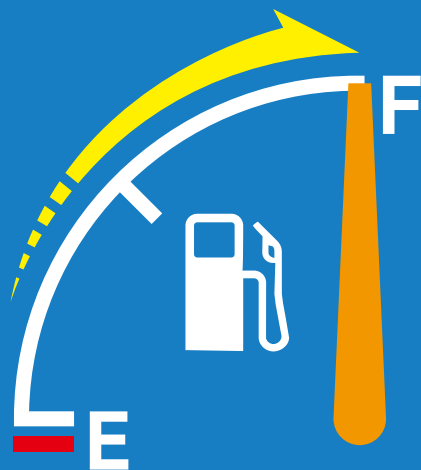


満タンで

安心



灯油プラス¹缶で

安心



私たちは
満タン&灯油プラス1缶運動
を展開しています。

もしもの時のために、車は満タンに、灯油は多めに備えましょう。

主催：全石連・都道府県石油組合 協賛：石油連盟・公益社団法人全日本トラック協会・日本ガソリン計量機工業会 後援：内閣府政策統括官(防災担当)・資源エネルギー庁・国土交通省

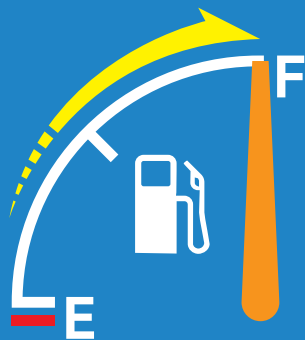
詳しくはこちら

<http://mantan-undo.com>



お問い合わせ先
全国石油商業組合連合会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-14 石油会館
TEL: 03-3593-5811(代) FAX: 03-3580-9245

満タンで 安心



灯油プラス1缶で 安心



お客様の災害対策としての

満タン＆灯油プラス1缶運動 を提案します

1 この運動のきっかけは…

阪神・淡路大震災（1995年、M7.3）、東日本大震災（2011年、M9.0）、熊本地震（2016年、M7.3）と日本はこれまで巨大な地震に見舞われてきました。
そして、近い将来、南海トラフ地震（M9）や首都直下地震（M7.3）の発生が想定されています。

2 災害が発生すると…

- 車中の避難生活のためのガソリン・軽油、暖房用の灯油を求める大勢のお客様がガソリンスタンドに殺到しました。
- 交通網の混乱や一時的な供給量の縮小により、ご来店いただいても、ご要望の量を販売できないことが起こりました。
- ガソリンスタンド周辺の道路では大渋滞が発生し、緊急車両や救援物資を積んだトラックの運行を妨げる事態も発生しました。

3 災害発生時の安心のために…

石油製品は非常食や飲料水のように簡単に“備蓄”することができません。
災害発生時の“安心”のために、車は常に満タンを心がける、暖房用の灯油は1缶余分に買い置くことを心がける、「満タン＆灯油プラス1缶運動」を、私たちは提案します。

車が満タンになっていれば



- プライバシー空間としての車内を情報収集拠点として利用できます。
- 400km程度の移動が可能になります。
(タンク容量、車両燃費により異なります)

灯油が1缶(18ℓ)余分にあれば



- 暖かい空間を85時間程度維持できます。
(和室7帖を中火燃焼した場合)
- ホームタンクをお使いの地区でも、1缶余分に持つことで災害時の安心度が高まります。

もしもの時のために、車は満タンに、灯油は多めに備えましょう。

主催：全石連・都道府県石油組合 協賛：石油連盟・公益社団法人全日本トラック協会・日本ガソリン計量機工業会 後援：内閣府政策統括官（防災担当）・資源エネルギー庁・国土交通省

詳しくはこちら

<http://mantan-undo.com>



お問い合わせ先
全国石油商業組合連合会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-14 石油会館
TEL:03-3593-5811(代) FAX:03-3580-9245